

一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会

令和2年8月臨時web理事会議事録

日時：令和2年8月4日(火) 18時開始

出席理事：松本理事長（52回）吉野（44回）市来寄（48回） 島津（53回）
窪地（58回）小澤（60回）菅（61回）澤藤（67回）石井（70回）下島（76回）
和田（84回）水野（94回）

学内教授理事：黒田（61回）13名/20名

欠席：熊井(46回)河瀬(49回)浅村(62回)北川(65回)志水(65回)川久保(73回)
竹内（91回）

監事：尾原(72回)

陪席 同窓会幹事：木村（79回）朝倉（81回）

顧問弁護士と税理士の陪席はなかった

事務局本間

上記のとおりのおり出席があったので、松本理事長は定款39条に基づき議長席として開会を宣し、議事に入った。

配布資料

1. 第29回日本乳癌学会学術総会募金趣意書（収支予算書含む）事前配布済み

審議事項

1・第29回日本乳癌学会学術総会 刀林会学会支援募金 承認の件

議長より、支援募金内規第3項によると、学会開催日1年前に申請の必要があり期限は過ぎているが、重要学会であり、特別に2020年7月28日に理事長面談(web)を行い、支援募金学会として認めるか理事会に諮ることにしたと説明した。

井本 滋君(64回、杏林大学教授)より第29回日本乳癌学会(以下「本会」)について、パワーポイントの資料を使用して、以下のごとく説明があった。

学会会員数は6月30日現在で9,340名であり、基礎・外科・外科以外の臨床医学系。準会員で構成されている。会期は2021年7月1日(木)から3日(土)で会場はパシフィコ横浜ノースを予定している。学会のテーマは「乳がん診療の新たな展望」であり、副題は「New Horizons of Breast Cancer Diagnosis and Treatment」としている。

寄付金を必要とする理由について、第29回日本乳癌学会学術総会には合わせて、約6,000名以上の参加者が予想され、開催の準備、運営等に要する費用は、総額251,310,000円になると推計されている。これらの諸経費は、補助金、個人参加者の参加費等で賄うのが基本であり、また節約による経費削減に努め、経費の圧縮をはかる方針であるが、必要経費の相当額を関係諸団体や企業の寄附に頼らざるを得ないのが実情である。その為、必要経費251,310,000円のうち、学会補助金、学会参加費、商業展示収入など自己負担金の226,179,000円を除く25,131,000円を寄附金により充当するより他なく、募金のお願いを致すことになった次第である。諸事多端の折から、誠に恐縮ながら、本会議を成功させるべく、刀林会の皆様には20,000,000円を目標にご寄付をお願いするものである。

続いて質疑に入った。

- ・吉野肇一理事より癌は漢字の癌ではなく、ひらがなの「がん」と書くべきではないかと意見があった。

これに対して、議長より、乳癌学会が決めたことなので修正はしないと判断したと回答した。

質疑も終わったので、議長がこれを議場に諮ったところ、全員異議なく、原案通り承認可決した。

これにより、井本滋君（64回）の第29回日本乳癌学会学術総会について学会支援募金として承認され、臨時社員総会に諮ることとなった。

以上をもって本日の議案をすべて終了したので、議長は閉会を宣言した。